

## ！ すぐに受診した方がよいとき

- 水分を受けつけない、おしっこが半日くらい出ないなどの脱水症状があるとき
- せき、鼻水、下痢、吐き方がひどく、ぐったりしているとき
- 生後3ヶ月未満の赤ちゃんに38℃以上の熱があるとき
- インフルエンザ流行時、乳幼児に急激な高熱と異常行動が出たとき



赤ちゃんは大人に比べて体温（平熱）が高いものです。ちょっと体温が高いからといってあわてずに、子どものからだ全体の様子をよくみてみましょう。

### 高熱のときは重い病気なの？

熱の高さと病気の重症度は、必ずしも関係ありません。熱を出す病気は非常にたくさんあり、熱の出始めは原因がわからないことも少なくありません。熱が出てから1～2日たって症状が出そろえば、正確な診断が可能になりますが、発熱後、数時間で診断をつけるのは無理なこともあります。

**熱が高くても元気があって食欲があるときは一晩様子をみても大丈夫です。夜は高熱でも朝になると下がるのがよくあります。**

### 正しい体温の測り方は？（ワキでの検温方法）

- ①ワキのくぼみの中央に体温計の先端をあてます。



- ②体温計が上半身に対し約30度になるようにして、ワキをしっかりと閉じます。



- ③平衡温になるまで、水銀体温計や実測式の体温計なら10分以上、予測式なら電子音が鳴るまでじっとしていきましょう。

（ワキ以外にも、耳の穴や肛門で測る場合もあります。）